

ご意見の要旨	属性	対象地域等	市の見解の要旨
◎路線バス			
ー運行に関するものー			
・バスをたくさん走らせてほしい。	市民	全域	・コロナ禍による生活様式の変化や乗客数の減、予てからの課題である運転手不足など、路線バスを取り巻く環境は非常に厳しい。持続可能な公共交通について、事業者と連携し地域公共交通活性化協議会の中で議論していく。
・運転手不足に起因する減便や運休が止まらない現状について、市の認識はどのようなものか？	市議会	早稲田	・同上
・路線の廃止や運休に起因し、バスを利用できなかったり、利用が不便な地域が存在するが、市はどのように考えているのか？	市議会	戸ヶ崎、早稲田	・アンケート結果では「不便だから利用しない」という意見もあったが、利用されなければ採算性が確保されず、公共交通の持続的な経営は困難。まず取り組むべきは、地域の公共交通は、地域自らが「支え、育てて、守っていく」という考え方を共有し、市民、事業者と市が連携し、地域の財産として公共交通を大切にしてい く機運の醸成であると考えている。市民ニーズを把握し、地域公共交通活性化協議会において情報共有を図り、よりよい公共交通を目指した議論を通じて検討して いく。
・早稲田のバスが急になくなり現在1日1便になってしまった。民間会社とはい え、公共交通の性格から、採算の合う路線だけを運行すべきではないと考える。 減便の理由や代替案の見通しを聞きたい。	市民	早稲田	・運転手不足によりやむを得ず実施したものとバス事業者より聞いている。 他の路線においても、バス事業者の現状はコロナ禍の影響や運転手不足などで非常に厳 しく、運休や減便で対応せざるを得ない状況。 今後の見通しについては、運転手が確保され次第、減便前の便数に戻して運行する予定と聞いている。 路線バスの サービス維持及び向上は、重要な課題であると受け止めている。 利用実態や地域のニーズに応じた運行についてバス事業者と検討していく。
・自宅から三郷市役所に乗り換えなしで移動できるバス路線が欲しい。	市民	戸ヶ崎	・三郷中央駅アクセス20分構想をベースに路線網を計画している。 乗り継ぎの利便性について改善の余地があることは理解しており、不便な状況はあるかもしれない が、既存の路線バスをご利用いただきたい。
・自宅からピアラシティまで乗り継ぎなしで移動できるバス路線を新設してほし い。既存路線を少し見直すだけで実現可能と思っている。	市民	高州	・ピアラシティを含む市内の7つの拠点の連携を図り、1 回程度の乗り継ぎで各拠点へ気軽にアクセス可能なネットワークの実現を目指しているが、現状では最適な 乗継環境（乗継料金、ダイヤ、待合環境）が未整備であるなど課題がある。 また、運行距離が長くなるため、定時制の確保や運行便数の減が懸念される。 コロナ 禍などでバスを取り巻く環境は非常に厳しいものではあるが、地域公共交通活性化協議会の中で最適な公共交通の在り方について検討していく。
・埼玉観光の土日ダイヤの最終便が早すぎる。21時程度までは運行するようにし てほしい。	市民	ピアラシティ	・路線バスの運行ダイヤは、運転手の人数や所有している車両を勘案しながら事業者が作成している。路線バスのサービス向上は重要な課題であると考えていること から、利用実態や地域のニーズに応じたダイヤについてバス事業者と検討していく。
・埼玉観光の路線変更の結果、通勤時間帯に三郷中央駅に向かう便が少なくなり 不便になった。	市民	ピアラシティ	・三郷中央駅までの代替移動手段といたしましては、三郷駅経由で路線バスを乗り継ぐか、バス停付近の自転車駐車場に駐輪のうえ、バスに乗り換えるなどの手段が 考えられます。今後は、路線変更後の利用状況などを見極めたうえで、利用者の要望を聞きながら、継続して最適な公共交通のあり方について検討していく。
・戸ヶ崎地域から三郷中央駅に向かうのに、特に土日のバスの便数が減少し、タ クシーを使わざるを得ない状況である。バス会社の支援や新しいバス会社の誘致 を考えてほしい。	市民	戸ヶ崎	・コロナ禍による輸送人員の減少や燃料費高騰など、バス事業者にとって非常に厳しい状況であり、事業継続のため、やむを得ず減便等の対応をしている。 市としても、バス事業者への経営支援は実施しているが、減便の回避には至っていない。路線バスの運行を持続するためには、皆様のご利用が必要不可欠なため、引 き続き利用していただきたい。
ー高齢者の移動に関することー			
・高齢者のバス利用を補助する観点から、東京都などのように、既存の割引制度 よりも割安なプランの導入はできないのか？	市議会		・高齢者の移動支援の観点からは有効と認識するが、コロナ禍における各事業者の経営状況などの実情を勘案すると、慎重に検討する必要がある。 東京都をはじ め、いずれの制度についても、地域の実情に合わせた制度設計となっている。 今後は、利用者のニーズを把握し、その結果を地域公共交通活性化協議会にフィード バックすることで、高齢者の移動支援を含めた誰もが利用しやすい公共交通について検討する中で、地域特性に合った高齢者運賃割引制度について研究していく。
・運転免許返納者の移動を支えるべき手段として、路線バスの運行を充実させて ほしい。	市民		・運転免許返納者の移動手段として、路線バスやタクシーへの期待が高まっていることは理解している。 ただし、コロナ禍の影響など、路線バスを取り巻く環境は 非常に厳しく、サービスの向上についての対応は困難なのが現状ではあるが、活性化協議会の中で最適な公共交通の在り方について検討していく。

ご意見の要旨	属性	対象地域等	市の見解の要旨
ーその他ー			
・路線バスだけでなく、市はデマンド交通などバス以外の移動手段の導入を検討すべきではないか。	市民・市議会	全域	・検討の前提として、まずはバス・タクシーの既存公共交通を最大限活性化させていく。そのうえで、バス・タクシー以外の移動手段については、地域公共交通計画の策定を通じ、地域公共交通活性化協議会の中で議論していく。
・Suicaなど、交通系ICカードが使えるようにしてもらいたい。	市民	全域	・利用者の利便性向上には大変有効な対策と捉えているが、コロナ禍による生活様式の変化や乗客数の減や、予てからの課題である運転手不足など、路線バスを取り巻く環境は非常に厳しい。減便が相次ぐなど、路線の維持もままならない状況下において、多額の投資を伴うICカードの導入については、困難な状況であると考えている。
・三郷中央駅のロータリーに停車中のバスのアイドリング音、ウインカー音、車内アナウンス、空吹きし、急発進・急加速の騒音が耐えられない。 一番良いのは、バス停の撤去だが、すぐにできないにしても、バス事業者に指導してほしい。	市民	中央	・これまで2回意見があったが、相手が特定できなかったため、市からの回答はなし。 ・埼玉県大気環境課に同様の問い合わせがあり、三郷市クリーンライフ課から事業者へ周知依頼あり。 ・R5.3.23に同様の内容の意見があり、今回は市がどのような対応を取るのか、回答を求められている。
◎タクシー			
・運転免許返納の促進や、高齢者の外出機会を増やす対策として、タクシー券を配布してほしい。	市民団体	全域	・運転免許返納に伴う公共交通機関の割引制度については、地域公共交通活性化協議会の中で検討・協議していく。
・三郷中央駅にはタクシーが少なく、常に人が並んでいて利用しづらい状態なので、配車量を増やしてほしい。	市民	戸ヶ崎	・タクシー利用者にとって、より利用しやすい環境整備に向け、タクシー事業者と連携し検討・協議していく。
・タクシーの支払いについて、カード決済などのキャッシュレス化を進めてほしい。	市民	全域	・市内のタクシー事業者のうち、1社はクレジットカード、PayPay、交通系ICによる電子決済を導入している。 今後も、より利用しやすい環境整備に向け、タクシー事業者と連携し検討していく。
・配車依頼をタクシー会社に電話しても出てくれない、又は対応してもらえないので、改善してほしい。	市民	全域	・予約が可能な市内の一般タクシー事業者は「三郷交通」のみとなっており、事業者の予約状況等により、希望の日時での予約ができない場合がある。 タクシー利用者にとって、より利用しやすい環境整備に向け、タクシー事業者と連携し検討・協議していく。

アイドリング・ストップ

埼玉県条例により

駐停車中のアイドリングは
禁止されています。

駐停車中はエンジンを止めてください。



20台以上収容又は面積500㎡以上の
駐車場の設置者や管理者は、
看板等によりアイドリング・ストップを
周知する義務があるんだよね。



- 買い物などに出かけて駐車するとき。
- 車で人待ちするとき。
- 荷物の積卸しをするとき。
- バス、タクシーが客待ちをするとき。
- 車中で休憩するとき。

こんなときは

**アイドリング・
ストップ**

アイドリング・ストップとは、自動車の駐停車時にエンジンを止めることをいいます。

埼玉県

アイドリング・ストップは環境に優しくて しかもお得！

アイドリング・ストップには

- 窒素酸化物 (NO_x)、浮遊粒子状物質 (SPM) による大気汚染の防止
- 二酸化炭素 (CO₂) による地球温暖化の防止

などの効果があります。

1日10分間アイドリングをやめれば！



●例えば、埼玉県内の全ての四輪自動車(全てガソリン車とみなします。)が、毎日10分間のアイドリング・ストップを行えば、1年間ではドラム缶約93万本分の燃料が節約され、二酸化炭素が約44万トン削減できます。

●燃料費も、ガソリン乗用車では年間約5,800円[ガソリン約51ℓ]、大型ディーゼル車では約8,600円[軽油約95ℓ]もお得です。

※ガソリンは1ℓ115円、軽油は1ℓ91円で計算しています。

資料：環境省



Q アイドリング・ストップを繰り返してバッテリーは大丈夫？

A 自動車のバッテリーの性能はよくなっているので、荷物の積卸しや人待ち・客待ちのときなどに、エンジンを停止する程度であれば問題はありません。

Q 暖機運転もいけないの？

A 車両の損耗を防止するための最低限の暖機運転は対象外です。
なお、現行の車では、暖機運転はそれ程必要ではないとされており、発進して少しの間ゆっくり走ることの方が車両には優しいと言われています。

Q アイドリングが例外として認められる場合は？

- A ●信号待ちなど道路交通法の規定により停止する場合
- 交通の混雑その他交通の状況により停止する場合
- 人を乗せ、又は降ろすために停車する場合
- 貨物自動車の冷蔵装置などの動力としてエンジンを使用する場合
- 緊急自動車が緊急用務のために使用されている場合
- その他やむを得ないと認められる場合(急病人に対する措置など)

お問い合わせ先